

平成28年度

北しりべし廃棄物処理広域連合
一般会計歳入歳出決算審査意見書

北しりべし廃棄物処理広域連合
監 査 委 員

目 次

第1 審査の概要	1
1 審査の対象	1
2 審査に付された書類	1
3 審査の期間	1
4 審査の方法	1
第2 審査の結果	1
第3 決算の概要	1
1 決算収支	2
2 歳入	3
3 歳出	4
4 財源内訳	5
5 性質別経費	5
6 債務負担行為	5
第4 資金収支の状況	6
第5 財産の状況	6
第6 ごみ処理の状況	7
第7 意見	7

【注】

- 文中及び表中の金額又は数値は、表示単位未満の金額又は数値を四捨五入しています。ただし、「収入率」及び「執行率」が99.95%以上100%未満の場合は、「99.9%」と表示しています。そのため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。
- 文中及び表中の符号等の用法は、次のとおりです。
 - 「 - 」・・・該当する数値がない又は増減がないもの
 - 「0.0」、「0」・・・該当する数値はあるが表示単位未満のもの
 - 「△」・・・減少
 - 「ポイント」・・・百分率（%）で表された二つ以上の数値の差
 - 「皆増」・・・前年度に該当する数値がなく、増減の比率を算出できないもの
 - 「皆減」・・・本年度に該当する数値がなく、増減の比率を算出できないもの

平成28年度 北しりべし廃棄物処理広域連合 一般会計歳入歳出決算審査意見書

第1 審査の概要

1 審査の対象

平成28年度 北しりべし廃棄物処理広域連合一般会計歳入歳出決算

2 審査に付された書類

地方自治法第292条において準用する同法第233条第2項の規定により広域連合長から提出された書類は、次のとおりです。

- (1) 平成28年度 一般会計歳入歳出決算書
- (2) 平成28年度 一般会計歳入歳出決算事項別明細書
- (3) 平成28年度 実質収支に関する調書
- (4) 平成28年度 財産に関する調書

3 審査の期間 平成29年7月20日 ～ 平成29年9月21日

4 審査の方法

広域連合長から提出された歳入歳出決算書その他の書類について、関係法令との適合性及び計数の正確性を確認しました。

なお、審査の実施に当たっては、例月現金出納検査における検査結果も参考としたほか、必要に応じて関係部署に説明を求めました。

第2 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書その他の書類は、関係法令の定めるところに従って作成され、各計数は関係帳簿、証書類と符合し、正確であると認められました。

第3 決算の概要

決算の概要は、次のとおりです。

1 決算収支

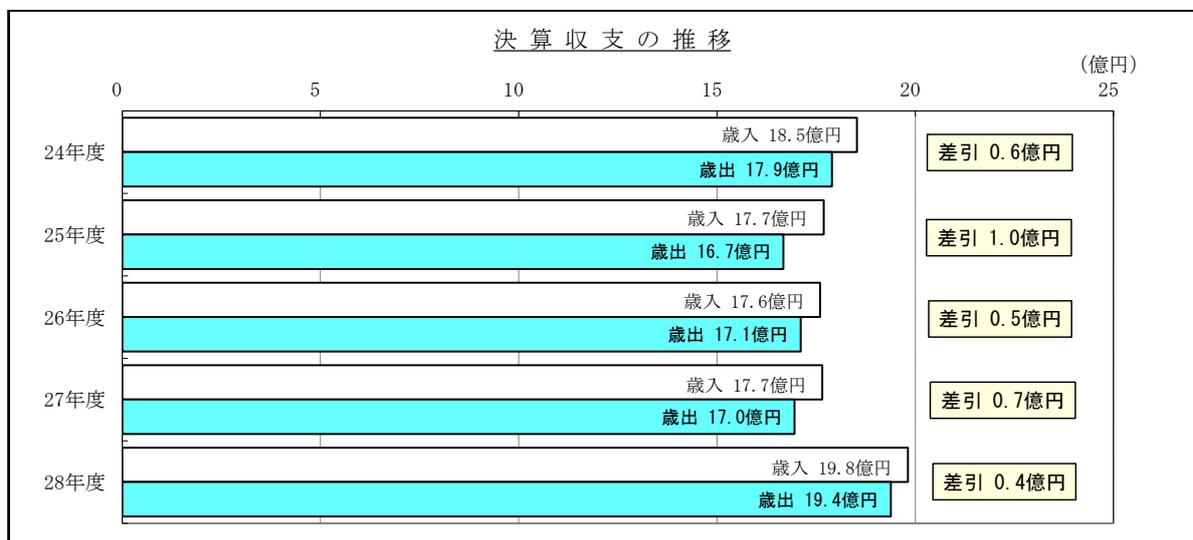
決算収支の状況は、次のとおりです。

区 分	本 年 度	前 年 度	比 較 増 減	
			金 額	比 率
歳 入 決 算 額 (A)	円 1,981,227,392	円 1,765,604,856	円 215,622,536	% 12.2
歳 出 決 算 額 (B)	1,938,245,549	1,695,412,342	242,833,207	14.3
歳 入 歳 出 差 引 額 (C=A-B) (形式収支)	42,981,843	70,192,514	△27,210,671	△38.8
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	-	-	-	-
実 質 収 支 (E=C-D)	42,981,843	70,192,514	△27,210,671	△38.8
前 年 度 実 質 収 支 (F)	70,192,514	49,274,119	20,918,395	42.5
単 年 度 収 支 (E-F)	△27,210,671	20,918,395	△48,129,066	△230.1

本年度は歳入1,981,227千円に対し、歳出は1,938,246千円となり、差引き（形式収支）42,982千円の剰余金を生じ決算を了しました。また、実質収支は翌年度へ繰り越すべき財源がなかったことから、形式収支と同額となりましたが、前年度実質収支を差し引いた単年度収支は、27,211千円の赤字となりました。

歳入歳出差引額を前年度と比較すると、歳出の増加額242,833千円が歳入の増加額215,623千円を上回ったことから、27,211千円（38.8%）減少しました。

決算収支の推移は、次のとおりです。



決算収支の推移を見ると、歳入額と歳出額は、いずれもおおむね減少傾向にありましたが、本年度は増加となっています。

2 歳 入

歳入決算額は、次のとおりです。

款	予算現額	調定額	収入済額	対予算 収入率	対調定 収入率	対前年度収入済額増減	
						金額	比率
	円	円	円	%	%	円	%
分 担 金 及 び 負 担 金	1,670,143,000	1,670,143,000	1,670,143,000	100.0	100.0	217,427,000	15.0
使 用 料 及 び 手 数 料	145,534,000	152,282,310	152,282,310	104.6	100.0	△938,297	△0.6
繰 越 金	70,193,000	70,192,514	70,192,514	99.9	100.0	20,918,395	42.5
諸 収 入	72,329,000	88,609,568	88,609,568	122.5	100.0	△21,784,562	△19.7
計	1,958,199,000	1,981,227,392	1,981,227,392	101.2	100.0	215,622,536	12.2

収入済額を予算現額と比較すると、収入率は101.2%となりました。また、収入済額を前年度と比較すると215,623千円（12.2%）増加しました。

分担金及び負担金は、関係市町村からの負担金で、収入済額を前年度と比較すると217,427千円（15.0%）増加しました。その主な理由は、ごみ焼却施設などの施設運営・維持管理業務委託料の負担分が増加したためです。

なお、市町村別（負担金）の推移は、次のとおりです。

区 分	28年度	27年度	比 較 増 減		26年度	25年度	24年度
			金額	比率			
	千円	千円	千円	%	千円	千円	千円
小 樽 市	1,459,310	1,269,049	190,261	15.0	1,225,365	1,269,971	1,372,194
積 丹 町	17,634	15,577	2,057	13.2	15,228	15,666	17,465
古 平 町	26,110	23,252	2,858	12.3	22,263	24,064	27,110
仁 木 町	17,080	14,572	2,508	17.2	13,867	14,364	15,730
余 市 町	142,109	123,416	18,693	15.1	118,365	123,805	135,697
赤 井 川 村	7,900	6,850	1,050	15.3	6,691	6,772	7,963
計	1,670,143	1,452,716	217,427	15.0	1,401,779	1,454,642	1,576,159

使用料及び手数料の内訳は、次のとおりです。

目・節	予算現額	調定額	収入済額	対予算 収入率	対調定 収入率	対前年度収入済額増減	
						金額	比率
	円	円	円	%	%	円	%
衛 生 使 用 料	72,000	72,000	72,000	100.0	100.0	-	-
ごみ処理施設使用料	72,000	72,000	72,000	100.0	100.0	-	-
衛 生 手 数 料	145,462,000	152,210,310	152,210,310	104.6	100.0	△938,297	△0.6
ごみ焼却処理手数料	134,900,000	141,750,718	141,750,718	105.1	100.0	957,295	0.7
粗大ごみ処理手数料	10,560,000	10,436,592	10,436,592	98.8	100.0	△1,672,592	△13.8
搬入許可等手数料	2,000	23,000	23,000	1,150.0	100.0	△223,000	△90.7
計	145,534,000	152,282,310	152,282,310	104.6	100.0	△938,297	△0.6

繰越金は、前年度繰越金で、収入済額を前年度と比較すると20,918千円（42.5%）増加しました。

諸収入は、鉄くず等売払収入、余剰電力売払収入等で、前年度と比較すると21,785千円（19.7%）減少しました。これは主に、鉄くず等売払収入で1,990千円、余剰電力売払収入で19,785千円それぞれ減少したためです。

3 歳 出

歳出決算額は、次のとおりです。

款	予算現額	支出済額		不用額	対前年度支出済額増減	
		金額	執行率		金額	比率
議 会 費	円 523,000	円 264,186	% 50.5	円 258,814	円 △131,040	% △33.2
総 務 費	114,310,000	112,071,678	98.0	2,238,322	21,507,976	23.7
衛 生 費	1,365,076,000	1,348,619,913	98.8	16,456,087	221,456,271	19.6
公 債 費	477,290,000	477,289,772	99.9	228	-	-
予 備 費	1,000,000	-	-	1,000,000	-	-
計	1,958,199,000	1,938,245,549	99.0	19,953,451	242,833,207	14.3

支出済額を予算現額と比較すると19,953千円の不用額を生じました。また、支出済額を前年度と比較すると242,833千円（14.3%）増加しました。

議会費は、議員報酬、会議録作成委託料等で、予算現額に対し50.5%の執行率となり、不用額は259千円となりました。また、支出済額を前年度と比較すると131千円（33.2%）減少しました。

総務費の項別決算の状況は、次のとおりです。

項	予算現額	支出済額		不用額	対前年度支出済額増減	
		金額	執行率		金額	比率
総 務 管 理 費	円 113,968,000	円 111,793,698	% 98.1	円 2,174,302	円 21,485,836	% 23.8
選 挙 費	111,000	100,220	90.3	10,780	6,420	6.8
監 査 委 員 費	231,000	177,760	77.0	53,240	15,720	9.7
計	114,310,000	112,071,678	98.0	2,238,322	21,507,976	23.7

総務費は、予算現額に対し98.0%の執行率となり、不用額は2,238千円となりました。

支出済額を前年度と比較すると21,508千円（23.7%）増加しました。その主な理由は、総務管理費の委託料で1,006千円、積立金で20,918千円それぞれ増加したためです。

衛生費（施設管理運営費）の目別決算の状況は、次のとおりです。

目	予算現額	支出済額		不用額	対前年度支出済額増減	
		金額	執行率		金額	比率
ごみ焼却施設管理運営費	円 925,126,464	円 912,283,372	% 98.6	円 12,843,092	円 191,669,388	% 26.6
リサイクルプラザ管理運営費	415,247,000	411,689,950	99.1	3,557,050	31,410,792	8.3
北後志リサイクルセンター 管 理 運 営 費	24,702,536	24,646,591	99.8	55,945	△1,623,909	△6.2
計	1,365,076,000	1,348,619,913	98.8	16,456,087	221,456,271	19.6

衛生費は、予算現額に対し98.8%の執行率となり、不用額は16,456千円となりました。

支出済額を前年度と比較すると221,456千円（19.6%）増加しました。その主な理由は、北後志リサイクルセンター管理運営費の工事請負費で3,015千円皆減しましたが、ごみ焼却施設管理運営費の委託料で193,669千円、リサイクルプラザ管理運営費の委託料で40,285千円それぞれ増加したためです。

なお、本年度の委託料には毎年度実施する定期点検に加え、供用開始後10年目に実施する施設設備等の大規模な点検・整備に係る経費が含まれています。

公債費の内訳は、元金441,311千円、利子35,979千円です。

4 財源内訳

科目別の財源内訳は、次のとおりです。

科 目	歳出決算額	充 当 財 源					
		特 定 財 源			一 般 財 源		
		使用料及び 手数料	諸 収 入	計	金 額	歳出決算額 に対する割合	
議 会 費	円 264,186	円 -	円 -	円 -	円 264,186	% 100.0	
総 務 費	112,071,678	-	5,604	5,604	112,066,074	100.0	
衛 生 費	1,348,619,913	152,282,310	88,603,953	240,886,263	1,107,733,650	82.1	
ごみ焼却施設管理運営費	912,283,372	141,796,718	66,117,252	207,913,970	704,369,402	77.2	
リサイクルプラザ管理運営費	411,689,950	10,485,592	9,512,349	19,997,941	391,692,009	95.1	
北後志リサイクルセンター管理運営費	24,646,591	-	12,974,352	12,974,352	11,672,239	47.4	
公 債 費	477,289,772	-	-	-	477,289,772	100.0	
計	1,938,245,549	152,282,310	88,609,557	240,891,867	1,697,353,682	87.6	
前年度計	1,695,412,342	153,220,607	110,390,490	263,611,097	1,431,801,245	84.5	
比 較 増 減	金 額	242,833,207	△938,297	△21,780,933	△22,719,230	265,552,437	ポイント 3.1
	比 率 (%)	14.3	△0.6	△19.7	△8.6	18.5	

科目別の財源内訳を前年度と比較すると、特定財源は22,719千円（8.6%）減少となり、一般財源は265,552千円（18.5%）増加となりました。

なお、本年度の歳出決算額に対する一般財源の割合は87.6%で、前年度と比較すると3.1ポイント上昇しました。

5 性質別経費

性質別経費の推移は、次のとおりです。

区 分	28年度	27年度	比 較 増 減		26年度	25年度	24年度
			金 額	比 率			
人 件 費	千円 108,067	千円 116,455	千円 △8,388	% △7.2	千円 109,718	千円 106,832	千円 107,849
物 件 費	1,269,159	1,036,792	232,367	22.4	1,008,326	1,002,936	1,131,630
維持補修費	886	53	833	1,570.7	304	244	2,123
扶 助 費	680	1,030	△350	△34.0	1,065	1,070	940
補 助 費 等	11,972	14,518	△2,546	△17.5	12,393	78,892	70,241
公 債 費	477,290	477,290	-	-	477,290	477,290	477,290
積 立 金	70,193	49,274	20,918	42.5	101,808	-	-
計	1,938,246	1,695,412	242,833	14.3	1,710,904	1,667,264	1,790,072

6 債務負担行為

債務負担行為の状況は、次のとおりです。

事 項	限 度 額	前年度までの支出額		本 年 度 支 出 額	翌年度以降の 支 出 予 定 額	
		期 間	金 額		期 間	金 額
ごみ処理施設 管理運営事業費	千円 16,574,000	年度 19～27	千円 8,573,617	千円 1,238,697	年度 29～33	千円 6,761,686

第4 資金収支の状況

月別の資金収支の状況は、次のとおりです。

区 分	収 入		支 出		残 高		
	収 入 額	(運用額・ 一時借入金)	支 出 額	(運用等償還額)	月 末 収 支 残 高	(運用等の残額)	
	円	円	円	円	円	円	
28年 4月	30,073,930	(-)	8,649,805	(-)	21,424,125	(-)	
5月	107,148,399	(-)	112,150,294	(-)	16,422,230	(-)	
6月	204,679,243	(-)	126,494,595	(-)	94,606,878	(-)	
7月	118,148,970	(-)	113,446,537	(-)	99,309,311	(-)	
8月	167,705,225	(-)	114,743,318	(-)	152,271,218	(-)	
9月	314,691,555	(-)	351,183,238	(-)	115,779,535	(-)	
10月	116,056,182	(-)	108,538,534	(-)	123,297,183	(-)	
11月	115,691,931	(-)	117,208,503	(-)	121,780,611	(-)	
12月	165,017,510	(-)	197,155,543	(-)	89,642,578	(-)	
29年 1月	124,558,215	(-)	114,534,547	(-)	99,666,246	(-)	
2月	181,946,026	(-)	112,736,501	(-)	168,875,771	(-)	
3月	315,416,372	(-)	349,864,666	(-)	134,427,477	(-)	
出納 整理 期間	4月	15,660,450	(-)	111,539,468	(-)	38,548,459	(-)
	5月	4,433,384	(-)	-	(-)	42,981,843	(-)

(注) 括弧書きの数値は収入額、支出額及び月末収支残高の内数です。

収入額の主なものは市町村負担金で、協定に基づき毎月納入されています。

また、支出額を月別で見ると、9月と3月は地方債の償還、12月は基金（運営資金基金）への積立のため、それぞれ支出額が大きくなっています。

なお、一時借入金は、予算で定めた最高額100,000千円に対し、借入れはありませんでした。

第5 財産の状況

財産の状況は、次のとおりです。

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高	評価価格又は取得価格
		m ²	m ²	m ²	千円
公 有 財 産	土 地	52,826.00	-	52,826.00	101,962
	ごみ処理施設敷地	52,826.00	-	52,826.00	101,962
	建 物	27,806.79	-	27,806.79	7,065,873
	北しりべし広域クリーンセンター	27,140.14	-	27,140.14	6,928,478
	搬入用計量棟	182.87	-	182.87	67,241
	搬出用計量棟	77.90	-	77.90	30,767
	スラッグストックヤード棟	123.12	-	123.12	31,428
	北後志リサイクルセンター 北後志リサイクルセンターびん等保管棟	198.92 83.84	- -	198.92 83.84	7,959
基 金	運 営 資 金 基 金	円 151,082,262	円 70,192,514	円 221,274,776	

本年度は、公有財産（土地及び建物）の増減はありませんでしたが、基金（運営資金基金）は70,193千円増加しました。

第6 ごみ処理の状況

北しりべし広域クリーンセンター（ごみ焼却施設・リサイクルプラザ）及び北後志リサイクルセンターのごみ処理状況の推移は、次のとおりです。

名 称		種 類		28年度	27年度	比較増減		26年度	25年度	24年度
				ト	ト	ト	%	ト	ト	ト
北しりべし広域 クリーンセンター	ごみ焼却施設	可燃ごみ	受入量	40,152.61	40,845.10	△692.49	△1.7	41,233.87	42,636.66	44,095.25
		リサイクルプラザ	不燃ごみ	受入量	4,796.33	5,456.10	△659.77	△12.1	5,624.45	5,865.88
	粗大ごみ		資源化量	450.57	540.56	△89.99	△16.6	545.74	553.74	518.57
	資源物		受入量	3,359.54	3,449.56	△90.02	△2.6	3,527.31	3,630.34	3,517.60
			資源化量	2,845.20	2,934.39	△89.19	△3.0	2,974.23	3,088.70	2,956.06
	北後志リサイクルセンター	資源物	受入量	1,272.72	1,322.89	△50.17	△3.8	1,366.30	1,430.55	1,545.30
資源化量			1,263.22	1,306.68	△43.47	△3.3	1,339.30	1,424.69	1,508.64	

(注) 5町村の缶受入れ処理は、平成25年度に北後志リサイクルセンターからリサイクルプラザへ移管されています。

市町村別のごみ受入量は、次のとおりです。

名 称		小樽市	積丹町	古平町	仁木町	余市町	赤井川村	計	
北しりべし広域 クリーンセンター	ごみ焼却施設	本年度(ト)	34,162.46	440.74	696.43	543.32	4,125.34	184.32	40,152.61
		前年度(ト)	34,691.25	466.06	735.20	549.13	4,222.48	180.98	40,845.10
		比較増減(%)	△1.52	△5.43	△5.27	△1.06	△2.30	1.85	△1.70
	リサイクルプラザ	本年度(ト)	8,043.97	8.61	11.96	15.20	70.81	5.32	8,155.87
		前年度(ト)	8,790.43	9.12	11.86	15.63	73.60	5.02	8,905.66
		比較増減(%)	△8.49	△5.59	0.84	△2.75	△3.79	5.98	△8.42
北後志リサイクルセンター	本年度(ト)		93.72	117.01	106.77	910.41	44.80	1,272.72	
	前年度(ト)		100.04	113.45	110.46	952.90	46.04	1,322.89	
	比較増減(%)		△6.32	3.14	△3.34	△4.46	△2.68	△3.79	
計	本年度(ト)	42,206.43	543.07	825.40	665.29	5,106.56	234.44	49,581.20	
	前年度(ト)	43,481.68	575.22	860.51	675.22	5,248.98	232.04	51,073.65	
	比較増減(%)	△2.93	△5.59	△4.08	△1.47	△2.71	1.04	△2.92	

第7 意 見

決算の概要は前述のとおりですが、本年度は、ごみ焼却処理手数料収入及び余剰電力売払収入が予算額を上回ったことなどから、特定財源は増収となりました。

各施設の管理運営に当たっては、今後も可燃ごみ排出量の減少が見込まれ、処理手数料などの財源確保は難しくなるものと思料いたしますので、引き続き関係市町村と連携を図りながら、効率的な財政運営に努められますとともに、北後志地域における一般廃棄物の適正かつ安全な処理を維持されますことを期待いたします。